

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

資料5

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、南あわじ市	地域再生計画名	津波災害に強い輸送拠点づくり
計画期間	平成28年度～令和元年度	評価責任者	兵庫県土木整備部土木局港湾課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	南あわじ市南部の観光拠点の入り込み客数	912千人	H28	968千人	H30	970千人	1000千人	R2 (R元)	602千人 (1,007千人)	○	浮桟橋改良工事の完了により、安全が確保された。 ※R元線によりR2に事業完了した ※R2は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値が未達成となったが、感染拡大前のR元に目標値を達している。
	指標2	臨海部の防災拠点の荷役稼働率の確保	75.7%	H28	90.5%	H30	95.4%	97.5%	R元	97.5%	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度 (H・R)	最終実績							
		福良港（防波堤整備）	225m	200m	225m	防波堤整備により、港内の安全性が向上した。本計画の防波堤の他に、既存の改良や一部新設が必要であるため、別計画にて引き続き事業を行いたい。						
		灘漁港（浮桟橋改良）	1基	0基	1基	浮桟橋改良により、災害に対する安全性の向上した。本浮桟橋が設置されている護岸の改良が今後必要であるため、別計画にて引き続き、事業を行いたい。						
その他の事業												
計画外で独自に実施した事業		鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録への推進	鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録をめざし、活動を推進			渦潮について世界遺産への登録を推進するためのPR事業を実施したことが、観光客数の増加に寄与したと考えられる。						
		うずまるフェスタ、津波防災フォーラム	イベントを通じた地域住民及び観光客の防災意識向上			防災意識の向上により、観光客の安全・安心の確保に寄与していると考えられる。						
		福良港海岸高潮対策事業	防波堤等の整備			防波堤等の一部施設の整備の完了により、観光客の安全・安心を確保できた。今後も完了していない施設の整備を引き続き進める。						
		沼島漁港水産生産基盤整備事業等	港口水門等の整備			防波堤等の一部施設の整備の完了により、観光客の安全・安心を確保できた。今後も完了していない施設の整備を引き続き進める。						
		地域の要望に合わせた避難路整備事業	避難路、太陽光避難灯等の整備			施設の整備完了により、観光客の安全・安心を確保できた。						
		福良地区避難訓練	避難訓練の実施			避難訓練の実施により、観光客の安全・安心を確保できた。						
④評価方法	事後評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。											
⑤事後評価の公表方法	兵庫県港湾課及び南あわじ市水産振興課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画の目標である「津波災害に強い輸送拠点づくり」の達成に向けて福良港及び灘漁港の一体的整備が必要不可欠であったため、港整備交付金を活用し、港湾施設整備と漁港施設整備を一体的に実施し、滞りなく事業の推進ができた。新型コロナウイルス感染拡大による不測の事態によりR2の実績値では一部目標は未達成となったが、一時的な影響によるものであり、感染拡大前のR元実績では、目標値を達成している。以上より、本計画の目標は達成しており、また今後事業効果が見込まれるため、事業実施は妥当であったと評価する。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画において整備した施設と合わせて整備することにより、さらなる効果の発現を図ることが出来る施設の整備を今後、別計画にて引き続き進める必要がある。											